

ばれいしょ(早掘栽培)

栽培の要点														
#	上 中 下	植付け準備 1. 植え付け準備 ・たい肥は完熟堆肥を使用(1t/10a) ・土壌分析に基づき強酸性圃場では、適正に改良資材を投入する。 :植え付け :収穫												
#	上 中 下	2. 種いも消毒 ・種いも消毒は必ず行う(共同作業を行うと経済的、省力的である)。 ・種いもは冷蔵種いもを10a当たり13~15袋使用する。 ・植え付け前までに浴光育芽を行う。 ・種いも一片重が35g程度になるように縦切りする。												
#	上 中 下	3. 植え付け 植え付け ・植え付け時期:12月上旬~下旬 ・栽植密度:畦幅60cm、株間25cm、株数6670株/10a												
#	上 中 下	4. 培土 ・排水を良くし、緑化いもの発生を防止する。												
#	上 中 下	5. マルチング ・出芽始め頃、土壌水分が適当なときに行う。												
1	上 中 下	6. 芽出し マルチング ・出芽が始まったら、芽焼けを起こさないように1~2日毎にポリフィルムを破って芽を出す。												
#	上 中 下	芽出し <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 霜害後の対策 霜害後の樹勢の回復を図るため、葉面散布剤(クロロゲン青を800倍)を10a当たり100%程散布する。 </div>												
2	上 中 下	7. 病虫害防除 ・疫病、菌核病、アブラムシを中心に防除を行う。 ・薬剤の効果が低下しないように同一薬剤の連続散布は避け、ローテーション散布を行う。 ・圃場見回りを徹底し、早期発見・早期防除に努める。 ・薬剤散布は葉裏にも薬剤が十分かかるような散布を心がける。												
3	上 中 下	8. 収穫・出荷 ・収穫はなるべく晴天の日に行い、皮むけや日焼けに注意し、傷をつけないように丁寧に行う。 ・日陰で良く風乾し、土を落として出荷する。												
#	上 中 下	病虫害防除 9. 後片付け ・ポリフィルムやビニールの後始末は適正に行う。 ・病虫害の発生源となるので、野良いもや茎葉はできるだけ残さず圃場外へ持ち出し、処分する。												
#	上 中 下	10. 施肥例 (10aあたり) 収穫・出荷 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>肥料名</th> <th>施肥量</th> <th>成分量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完熟たい肥</td> <td>1,000kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハワーサポート</td> <td>40kg</td> <td>P:3.2kg</td> </tr> <tr> <td>BB馬鈴薯特裁 242号</td> <td>130kg</td> <td>N:15.6kg P:5.2kg K:2.6kg</td> </tr> </tbody> </table> (施肥は畦内処理とする)	肥料名	施肥量	成分量	完熟たい肥	1,000kg		ハワーサポート	40kg	P:3.2kg	BB馬鈴薯特裁 242号	130kg	N:15.6kg P:5.2kg K:2.6kg
肥料名	施肥量	成分量												
完熟たい肥	1,000kg													
ハワーサポート	40kg	P:3.2kg												
BB馬鈴薯特裁 242号	130kg	N:15.6kg P:5.2kg K:2.6kg												
5	上 中 下	後片付け												